

ボランタリーハウス はなみづき

ー陵南支部ー
＜毎週水曜日 10:00～14:00 陵南福祉センター＞

地域のコミュニティづくりとして毎週水曜日に、ボランティアの手作りで昼食も提供して、今年で7年目を迎えます。踊りや歌、体操、作品作りなど様々な活動内容で行っています。週1回の集まりが、皆さんの元気の源となり、とても楽しみにしています。

今回は、工事のため調理室が使えず、近所の「和・かたらい」さんご厚意で、昼食が配されました。



この日は下呂市から老人クラブのみなさんが視察に来られ、一緒に絵手紙作りを楽しみました。

親和会 ー那加三支部ー₁ ＜第2・3・4水曜日 13:30～16:00 南栄町集会所＞

参加者自らが中心となって運営するハウスで、小物づくりと健康体操を中心におこなっています。「ドーンドンパンパン」の「ドンパン体操」も元気いっぱい。町内の作品展に作品を展示し、良い発表の場になっています。



「ホットガールズ」のみなさんが訪れ、楽しい歌・踊り・マジックを披露してくれました。毎年恒例です。



文化の日前後におこなわれる作品展。この作品展は、親和会の活動PRと共に「豚汁を作ったから」と持ち寄ったり、楽しい交流の場となっています。

日之出町さんさんクラブ



来年のえとの「犬のきめこみ人形」を見ながら、「かわいいねえ～」

第2土曜日は子どもと一緒に遊ぶ日です。割りばし鉄砲やお茶のお手前を、参加者が教えてあげることも。

ー那加三支部ー₂ ＜第2・4土曜日と15日 9:00～11:00 日之出町公民館＞

さんさんクラブの日以外にも、この公民館でクロッキーなどを毎日のように楽しむ、とても元気なみなさんです。作った作品を見せ合ったり、高齢者大学で学んできたことを発表したり、がんばっているマラソンのこと話をしたり、いろいろな話題に及びます。



ボランタリーハウス つれづれ

ー鵜三支部ー₁
＜第4木曜日 14:00～16:00 飯尾さん宅＞

集会所がなくても、「私の家でよかつたら」とご自宅を開放してくださったおかげで実現したハウスです。お茶を飲みながらおしゃべりと笑いが絶えません！

ボランティアの方が「開催日の前々日にはかならず声をかけて回る」という気配りもあり、みなさんとても楽しみにして来られます。



壁の飾り物が手作りで作られており、参加者を楽しませてくれます。
「つれづれるまに日々ぐらし…」の言葉からとった名前が、参加者全員の投票で選ばれ、「つれづれ」となったそうです。

アサガオ会

ー川島支部ー₁
＜第3水曜日 13:00～15:00 川島健康福祉センター＞

ボランティアの方が作る軽食(おにぎりやお寿司)や、頭の体操などが楽しみで、みなさん時間よりも早くに集まります。参加者のお仲間の元助産婦さんの指導で、顔・首から指先・全身までの体操も欠かせません。

ほとんどの方が80歳以上ということをお聞きしてビックリ！みなさん本当に元気です。



頭を使ったら身体を動かしましょう！



頭の体操で迷路に挑戦中。

ワンコインサロン

ー緑苑支部ー₁
＜第3水曜日 18:30～20:30 緑苑コミュニティーセンター＞

100円持って参加するため、ワンコインサロン。自分の得意なことや体験したことなどを講師となって話し、自由に話し合う、そんなボランタリーハウスです。「愛・地球博のみどころは？」「私の健康と食事」「庭木の手入れについて」等、身近でありながら学習意欲がむくむくと湧く内容です。参加者の半数以上が男性というのも特徴です。



この日は「インターネットを楽しもう」で、手紙の代筆をしてくれたり、自分の似顔絵アイコンを作ったりできるフリーソフトについてのお話。「へえ知らないかったし」という情報がぞくぞくです。



第39回社会福祉大会

11月23日(祝)、市民会館大ホールにおいて、

福祉関係功労者の表彰と記念講演がおこなわれ、被表彰者を含め約1000人の市民が来場されました。

なんだから笑つて過ごした人生だつたな」と言えるように

記念講演では、三笑亭夢之助さんが「健康は笑いから」と題し、笑いたっぷりのお話をされました。認知症の方の世界を受け入れ、温かく接することの大切さ、また「おもしろく話す方法」についてなど、軽快なお話に会場一同ひきこまれました。

泉重千代さんが亡くなる前、「なんだか笑つて過ごした人生だつたな」とおっしゃったそうです。少しでも、そうなるように過ごしたいですね、というお話をありました。

お話を聞いたみなさんも、ニコニコ笑顔で会場を後にされました。

ハンド・イン・ハンド2005
手に手をとつて交流

12月10日(土)、産業文化センターあすかホールにて、障害のある方とボランティアの交流イベント「かかみがはらハンド・イン・ハンド」が開催されました。約250名が参加されました。

「歌」をテーマにメンバーが力を合わせ、グループ対抗の「手作りビンゴゲーム」では、「ピンゴ!」の声があちこちで響きました。

かわいいマツケンサンバ!

市内には17の支部社協があり、地域の特性にあった福祉活動を展開しています。みなさまからの会費が財源となっています。



食改のみなさんの食事づくり



おいしそうなお弁当が配られました



松倉のボランタリーハウス作品展

支部社協紹介⑯

川島支部

平成16年11月の合併に伴い、旧川島町社会福祉協議会の役員を中心に、同年11月16日に立ち上がった支部社協です。旧川島町社協から実施していた行事などを参考にしながら、メニュー事業、支部独自の事業を実施していくたいと考えています。

現在は、町社協でも実施していた高齢者を対象としたボランタリーハウスを支部内の3箇所（小綱・松倉・河田）で実施しています。近隣の方はぜひ一度参加してみてください。昨年10月には、支部内の食生活改善協議会の方々の協力を得て、70才以上の一人暮らしのお年寄りを対象に配食サービスを行い喜んでいただきました。その月に開かれた川島地区生涯学習発表会にも、川島支部社協として参加させていただきました。

設立して間もない支部ですが、今後は地域の特性を活かしながら事業を実施し、地域の方々に支部社協の存在を知っていただきたいと思います。

おいしいお弁当が配られました

ボランティア
いろいろ

木曽川水園「魚の会」



木曽川水園ふれあい池での清掃の様子

河川環境楽園内の木曽川水園やおさかなハウステで、魚の増殖や水園の掃除などをするボランティア活動です。魚を通じて人との交流を楽しむ、のんびりとした活動です。

各務原養護学校文化祭



12月10・11日に、那加雲雀町で行なわれた、各務原養護学校文化祭。2日目のPTAバザーを5名のボランティアさんが手伝いました。

寒い日でしたが、ジュースや焼きそばを渡しながら、お客様と笑顔でコミュニケーション。文化祭を盛り上げました。

ボランティアさんの紹介コーナー

1 ボランティア
みずの たけお 武男さん(66)

水野さんは、パソコンボランティアとして活動しております。数年前、社協の障害者パソコン教室でのアシスタントボランティアとしてかかわられたのがきっかけで、教室に参加された方のその後の質問に答えたり、接続のお手伝いなどをしていただいている。6月から、「定期的にパソコンを教えて欲しい」という在宅の障害のある方のお宅に、月2回ほど訪問されています。

ワードで来年の干支の「こま犬」のイラスト入りの年賀状の文章を作成したり、指先の訓練を兼ねたゲームを楽しんだり、その方の調子に合わせ、ゆったりと指導しておられます。「根気よく付き合ってくださるので、とても助かります。」とご家族。パソコンを学習し始めたのは、退職後、地域のパソコンサークルに参加するようになってから。その学習の成果を役立たせたいと、現在はこういった訪問やパソコンサークルで、指導する側となっています。「障害を乗り越えてパソコンの操作を学びたい」という彼の気持ちに応えて、少しでも自立のための支援ができたらうれしい。パソコンの知識もさることながら、その方の気持ちを汲み取り、その方のペースに合わせてじっくりと付き合うことが欠かせない活動。「地道に続けて行こうと思います。」とやさしい笑顔でお話ししてくださいました。

(パソコンボランティアさんについてのお問い合わせは社協まで)

53



ボランティアグループ紹介

防災ボランティア
「チーフ911各務原」

愛・地球博の会場で倒れた人の多くが「AED」と言う機械によって救われました。「AED」と簡単に言うと心臓発作の時に使用する電気ショックの事です。最近は一般人でも使用可能になりました。私達は自分の家族や、身近な人を自分で救えるように、応急手当（心肺蘇生法等）の普及活動を行っています。



福祉フェスティバルでの指導

「人づくり」と

「若者に魅力ある」都市(まち)へ



各務原市社会福祉協議会

会長 森 真

謹賀新年

年頭にあたり、市民皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

日頃は、私ども社会福祉協議会の活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、本市は、新総合計画及び旧川島町との合併後の新市建設計画である都市ビジョン「元気な大交流都市」へ向かって、そのアクションプログラムを順調に進めさせていただいています。市民生活にとつて大切な諸事業を、計画的に誠心誠意推進してまいります。

その一つは、「人づくり都市」です。新

年度は、日本で初めて市単独の学校経営予算や小中一貫性ある教育、児童生徒による児童生徒のための予算、国際化・情報化教育、地域との連携、スポーツ王国づくりなど、あらゆる政策手段を市単独で導入します。

二つ目は、「若者に魅力ある都市づくり」です。次代を担う若者が集う都市は、活力と文化にあふれています。今年4月に中部学院大学各務原キャンパスが市の中心部に開校し、若者に魅力ある都市へとさらに大きく飛躍いたします。

人づくり都市と若者に魅力ある都市。今年から始まる各務原市の二大テーマです。

社会福祉協議会といたしまして、明るい市民生活を送っていただけるよう、地域の特性にあつた福祉活動を開催します。皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。

お知らせ 障害者デイサービスでのボランティアを募集しています！



ふれあいクッキング 参加者募集!!

60歳以上の男性を対象にした料理教室です。
自分で作った料理を食べる楽しみを味わいながら、仲間づくりもできますよ！

日時 1月20日(金)
場所 総合福祉社会館3階 料理室
講師 食生活改善協議会のボランティアのみなさん
持ち物 エプロン・空容器 参加費 200円
申込み 定員 地域福祉係 ☎0583(83)7610
締切り 25名
1月13日(金)1月4日(水)から受付けます。
※応募多数の場合、抽選とします。
(抽選にもれた方のみご連絡します)

活動日時 水曜～日曜 午前10時から午後4時
(この中で都合のつく曜日・時間)

活動場所 NPO法人居宅介護支援
障害者デイサービスきざはし
(各務東町4-53)

申込・問合せ ☎・FAX0583(70)8837
担当：谷・久郷

口唇口蓋裂を考える会(たんぽぽ会) 岐阜地区懇談会開催



心配ごと相談所を開設しています

家庭の問題や生活の中の小さな不安、どんな小さなことでも結構です。まずは話して心を軽くしませんか？

民生委員児童委員・人権擁護委員の方などが、親身にお話をうかがいます。予約制ではありませんので、直接お越しください。秘密は厳守します。

開設日 毎週火・木曜日 午後1時～4時
場所 総合福祉社会館2階 心配ごと相談室

電話での相談や問合せ
地域福祉係 ☎0583(83)7610

書き損じの年賀状を集めています！

書き損じハガキ・古切手・使用済みテレカを常時集めています。収集物は毎月第2木曜日の「収集ボランティアサロン」でボランティアさんに整理していただき、換金して積み立てています。

お寄せいただける場合は、社協事務局にお持ちいただくか、市内5ヶ所の市民サービスセンターにあるアイデアポストに投函してください。



各務原市ふるさと福祉村 「第4回意見交換交流会」発表者の募集

各務原市ふるさと福祉村では、意見交換交流会を開催し「サークル」「クラブ」「趣味の会」等活動内容を対話・交流を目的に発表して頂ける方を自薦・他薦を問わず広く募集します。

募集締切 平成18年1月31日(火)
発表日時 平成18年3月18日(土)
問合先 各務原市総合福祉会館 3階集会室
各務原市ふるさと福祉村事務局
☎0583(89)1414 山興印刷(株)内(山田)
E-mail : yamaco@qf6.so-net.ne.jp

社協 登録ヘルパー募集

雇用形態 パート

資格 ホームヘルパー2級以上
対象 市内にお住まいのおよそ55歳までの健康な方
細 詳 在宅福祉係
那加ステーション ☎0583(83)7623
鵜沼ステーション ☎0583(85)3310

雇用形態 パート

資格 正看護師又は准看護師
対象 市内にお住まいのおよそ55歳までの健康な方
勤務時間 週3日勤務 午前9時～午後4時
老人デイサービスセンター
☎0583(70)7623

社協 かかみがはら



2006.1.1
No.123

「アクセル・ブレーキも手元で操作します」
— 小・中学生ボランティア塾 車いす体験学習にて 運転席の工夫について説明 —

発行 社会福祉法人 各務原市社会福祉協議会
〒504-0912 各務原市那加桜町2-163 総合福祉会館 2階
電話.0583-83-7610 FAX.0583-82-3233
E-mail shakyo@chive.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www12.ocn.ne.jp/~k-shakyo/>



古新聞紙100%再生紙を使用しています。

福祉推進校の取り組みから 緑陽中学校 体験・交流活動



北村祐次さんのお話を聞きました

首を怪我した直後には、お見舞いに来てくれた人の「がんばれ、負けるな」という言葉が心に届かなかったこと。今、デイサービスセンターでの仕事にとても誇りを持っていること。結果よりも、勉強や部活を一生懸命がんばったという過程が大切だということなど、身近に感じられるお話をうかがいました。



地域の高齢者とゲームなどで交流

「漢字クイズ」や「しりとり風船バレー」など、楽しんでもらえるゲームをいろいろ工夫して考えました。

感想の一部を紹介します(抜粋・要約させていただきました)

- (高齢者のお宅に訪問して)今回の交流を振り返って思ったことは、「特別視をしない」ということです。特別視をしたら、「あの人は…」などと、話かけにくくなったり、相手の方も話しかけにくくなり、お互いに嫌な気持ちになるからです。また、近所の人に、自分から進んで声をかけにいけることが、テーマである「周りの人とよりよく生きていく」ための一歩ではないかと思います。
- (デイサービスセンターの高齢者と交流して)ビンゴをしているとき、若いときの話をして下さいました。別れ際、とてもうれしそうにして「ありがとう」と何回も言われました。そのことがとてもうれしく、「ああ、よかった」と思いました。

善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました

敬称略・順不同 平成17年10月22日～12月12日

金 錢

| | |
|---------------------|----------|
| 株式会社 ロマンティア | 200,000円 |
| 那加三ふれあいフェスティバル実行委員会 | 50,000円 |
| 第13回西ライフデザインセンター | |
| クラブサークル発表会実行委員会 | 199,801円 |
| 波多野 耕三 | 9,000円 |
| 株式会社 美装モリタ商会 | 32,000円 |
| 那加中学校ふれこみ隊 | 24,618円 |
| 愛歌岡田教室 | 50,408円 |
| 各務原ロータリークラブ | 100,000円 |
| 各務原市農業協同組合 | 80,000円 |

金 錢

| | |
|-------------|----------|
| 有限会社 吉田ふとん店 | 介護用ベッド1台 |
| JAかかみがはら女性部 | タオル354本 |

緑陽中学校1年生のみなさんの、「総合的な学習の時間」における、体験・交流活動の一部をご紹介します。



松が丘「エンジェルハウス」で一緒に作業

アクリルたわし作りやハンドルカバーへのゴム通しなどの作業を体験しました。「ちょっとなら楽しいけど、1日作業していたら大変だろうなあ。」「みんなで話しながらできたら楽しいかも！」



藤田亜希さん

盲導犬ワイズとの生活についてお話を聞きました

ワイズと生活するようになって、自分が勉強したいことを習いに出てかけられるようになったこと、パソコンの音声ソフトで情報を得ていることなどをうかがいました。

次回の「社協かかみがはら」は、4月1日発行です。
※社協「ばらんていあ情報」を2月15日に発行します。